

平成 29 年度函館あおい幼稚園 自己評価・学校関係者評価表（10 段階評価）

評価分類	評定	内 容
保育の計画性	8.1	園の教育理念や教育方針を理解している。
	8.3	園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる。
	8.0	幼児の生活が豊かになるような行事を、幼児の実態に合わせて精選している。
	6.3	指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような環境構成をしている。
	6.9	教師の願いや意図をもって環境構成をしている。
	7.6	自分の保育と計画の評価・反省は、行うようにしている。
	6.1	幼児が自ら活動を生み出していけるような素材との出会いを考えている。
保育のあり方・幼児への対応	7.6	園内に危険な個所がないかどうか、危険な遊び方はないかなどを常に観察している。
	7.3	幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても、推察するようにしている。
	6.6	個々の幼児の発達の様子や課題について見通しをもって理解できる。
	6.3	一人一人と集団の関係を、常に考えながらかかわっている。
	8.7	クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている。
	6.6	クラス的环境構成などについても、お互いに意見を交換している。
	9.0	幼児のことについて、常に保育者同士で話し合い、クラス・学年をこえて情報を共有している。
教師としての資質・能力・良識・適性	8.1	締切りのある仕事や提出物は締切日をきちんと守っている。
	6.0	クラス内はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している。
	9.7	教職員全員でひとつのチームであることを意識している。
	7.9	会議の時は、自分の意見や質問を前もって考えている。
	8.0	保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことをわかりやすく話すことができ、保護者との信頼関係を作ることに努めている。
	8.1	自らの健康にも配慮し、つめが伸びていないかどうか等、保育をする上での安全性にも気をつけている。

評価分類	評定	内 容
保護者への対応	8.1	個々の子どもの様子は直接話をしたり、電話・連絡帳などを使って伝え合っている。
	7.6	保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている。
	7.9	自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞く。
研修と研究	7.4	研究保育を参観する時は、自分なりの課題と視点をもって観ている。
	7.4	自分なりの幼児観・保育観の確立のための研修・研究を行っている。
	6.1	園内の環境を、いくつかのまとまりや、関連性を持たせて保育の計画・実践に生かすことができる。

## 学級経営反省点

- ・限られた歌、手遊び、集団遊びになりがちだったので、季節や行事にとらわれず、新しい歌や遊びに挑戦したい。
- ・毎日の保育を改めてきちんと振り返ることが大切だと実感した。反省を次に活かすことが足りないように思い、自分には必要であると感じた。
- ・はさみを使った製作・折り紙遊びなど経験出来る保育を、多く設定できると良かった。
- ・行事に向けての計画性が自分自身で少なかつたため、子どもたちを困惑させてしまった事があった。しっかりと見通しを立てすすめていくことが不足であった。
- ・集団での活動の中で、個の思いで行動してしまう子が多かつた。しっかりと思いを受けとめながらも、「集中力・けじめ」を大切に、個々に身につかせたかった。
- ・子どもを理解するためには、保護者との信頼関係も重要であると改めて思った。今後もより良いコミュニケーションがとれるよう努力していきたい。

## 今後取り組みたい課題

- ・友達や人とのつながりの大切さを伝え、一人ひとりの心の動きを見逃さずに、より良い関係を作れるよう援助したい。
- ・遊びの環境がマンネリ化しないように、遊びの工夫を心がけ、子どもたちが作り上げていけるようにする。
- ・一つ一つの活動を余裕のある内容にすることを心がけていきたい。
- ・楽しい事の中にもやって良い事や悪い事、危険な事などの判断が自分自身でできるような保育と援助を行っていきたい。
- ・目で見てわかりやすいような、視覚に訴える保育と環境準備を行いたい。
- ・立場的に、学年・園全体の現場について細やかに目を向け、指示を出したりまとめていく意識をもちながら努めたい。

## 学校関係者からの評価

- ・日々、園児がいかにして楽しく過ごし、どのようにステップアップしていくのかを、先生方の思いばかりが先行することなく、園生活から子どもたちから出た遊びの芽を大きく行事に取り入れる保育の姿勢が、とても情熱的であると感じています。
- ・楽しい体験をするために、安全面への配慮もしっかり行っており、子どもたちはのびのびと自らが選ぶ遊びや活動に思い切り参加できる園であり、保護者への対応も誠意をもって行って下さるので、信頼を寄せて通園させられました。
- ・厳しい評価が多く見られ、保育に対する真摯な姿勢を強く感じました。
- ・担任だけでなく、教職員全体で子どもたちを見守って下さるのがわかり、安心して通園させられます。
- ・園生活の中で、幼児が主体でまわりを取り巻く環境・教師・職員がひとつのチームであることがよく分かります。そのおかげで、保護者が参加する行事も大変雰囲気が良いと感じます。
- ・子ども自らが話をするような手助け(発表、声かけ、話の組み立てなど)をする機会を増やし、日本語力をあげる保育を期待したいです。